

総合的な学習の時間

全学年 6月実施

学習項目 地震・津波・原子力災害を知る

指導目標 ・東日本大震災やインド洋地震津波などの地震・津波の資料を用い、その恐ろしさや被害の状況を知らせ、防災の必要性を理解させる。

指導時間 1時間

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	地震や津波の映像や写真を見て、自然災害の脅威を知る。	地震・津波の映像や写真
展開	東日本大震災の被害状況や体験談などを聞き、私たちの身近に起こり得る災害であることに気づく。 地震・津波・原子力災害についてのクイズに答え、知識を深める。 もし、自分が住んでいる地域に地震・津波・原子力災害の被害が起きたら、どのように行動するかシミュレーションしてみる。 正しい避難の方法を確認する。	被害状況や体験談の資料 クイズの問題 ワークシート
まとめ	学習して気づいたことをワークシートに記入する。 感想等を発表し、本時のまとめをする。	ワークシート

総合的な学習の時間

全学年 11月実施

学習項目 防災訓練

指導目標 ・炊き出しや応急措置の方法を体験することで、相互支援の意識や、防災意識を高める。
 ・自ら命を守る主体性を身につけさせる。

指導時間 2時間

展開

過程	主な学習活動	備考
導入	被災地の避難所では、救援物資によって食事を賄わなければならないことを知り、炊き出しの必要性を理解する。 怪我をした人には、簡単にできる応急措置を施すことの大切さを理解する。 本時の学習目標を把握する。	炊き出しの写真 赤十字の方の協力を得る。
展開	赤十字の方から応急措置の仕方を指導してもらう。 ・三角巾を使った固定の方法 ・簡易担架の作り方 土嚢づくりの体験（松浦市消防本部鷹島出張所の協力） 1～2年生は、DVDなどの映像を見る。 ・長崎県で起こった水害などの状況を説明する。 3年生は、炊き出し訓練を行う。	カレーソーメンを作る。 釜から作成させる。
まとめ	炊き出しの感想や気づきをワークシートに記入する。 ワークシートに、今後、避難した後、自分たちでもできる支援の方法について考えさせる。	

総合的な学習の時間

第1学年 10月実施

学習項目 防災環境授業

指導目標

- ・ 鷹島がおかれた自然環境などを知り、どのような災害が起こりやすいか理解させる。
- ・ 通学路の危険箇所を把握し、危機意識を持たせる。
- ・ 自助・共助・公助について学び、防災意識の高揚を図る。

指導時間 6時間

展開

1校時	<p>防災クイズ 災害発生時の対応についてのクイズを実施する。</p> <p>鷹島町の環境について 鷹島の地質・地滑り地の分布等について説明する。</p> <p>自然災害について 地滑り、崩壊、土石流等の自然災害について説明する。 H22年7月に殿ノ浦で起きた道路斜面災害について説明する。 地球温暖化の影響について説明する。</p>
2校時	<p>地震災害について 東日本大震災の状況について説明する。 九州北部の地震の可能性について 鷹島町でもM6以上の地震のリスクがあることを説明する。 身の回りの危険箇所について 暴雨や地震時に危険な危険箇所を説明する。(5時間目の着目点)</p>
3校時	<p>防災ワークショップ 自分とは異なる立場の人になりきって災害が起きそうな状況を疑似体験する。</p>
4校時	<p>防災ワークショップの振り返り 発表 疑似体験で明らかとなった問題点と解決策を班で話し合い、発表する。(自助、共助、公助について考える。)</p>
5校時	<p>学校周辺の通学路の危険箇所点検(フィールドワーク) 通学路を点検し、豪雨や地震時の危険箇所を探す。</p>
6校時	<p>ハザードマップ作り 確認した危険箇所をマップに記録し、各自のハザードマップを作成する。 防災アクションプランについて アクションプランを持ち帰り、災害が起きそうな状況での家族の行動等を話し合うきっかけとする。 防災クイズの見直し・解答 1日の学習を踏まえて再度解答を見直す。</p>

